



Tokyo Women's Medical University Hospital

# 女子医大便り



2016年夏号

TOPIC 01\_ 病院長挨拶 02\_ 新任教授挨拶／医療安全・危機管理部 03\_ 新たな診療科紹介＜睡眠科＞ 04\_ 研究会・講演会紹介／からだ情報館の紹介

「医療連携ニュース」から「女子医大便り」に名称が変わります。  
お便りのシンボルは、明治41年、牛込区市ヶ谷河田町に  
開設された東京女医学校附属病院（1号館）です。  
現在の東京女子医科大学病院の原点となります。  
今後ともどうぞよろしく願いいたします。



## 院長からのご挨拶

病院長  
田邊 一成

当院は、一昨年の医療事故を真摯に受け止め、患者さん一人一人が安全かつ安心して医療を受けられるよう医療安全に注力してまいりました。その一環として、本院だけでなく法人全体で医療安全に取り組むための医療安全・危機管理部を設置し、皆様の目に見える形で当院の改善がお示しできるよう精力的に活動しております。また、病院長による全診療科への積極的なアプローチや外来センター運営会議の起ち上げをはじめとして、外来や入院診療の体制などを見直すことにより、今まで以上に患者さんが信頼できる病院へ転換を図る所存です。これら一連の取組みにより、連携先の先生方が安心して患者さんをご紹介できるような病院に生まれ変わるべく鋭意努力しております。

そして、当院を支えていただいている連携先の先生方のご期待に応えるために、職員一同より一層力を合せて、改革に取り組んでまいりますので、今後も引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



## 新任教授ごあいさつ



神経精神科

西村 勝治

このたび神経精神科の教授・講座主任を拝命いたしました。私は熊本大学を卒業後、一貫して女子医大でキャリアを積んでまいりました。閉鎖病棟を有する当科では多様な精神疾患に対応しております。薬物療法ではわが国を主導する施設のひとつであり、多職種による患者・家族への心理教育にも積極的に取り組んできました。リエゾン精神医学にも力を注ぎ、私自身もがん、臓器移植、膠原病、循環器疾患などの領域で臨床と研究に関わってきました。「開かれた精神科」「ユーザー・フレンドリー」をキーワードとして、これまで以上に広く地域の方々と連携させていただき、質の高い精神医療を提供して参りたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ致します。



血液浄化療法科

土谷 健

血液浄化療法科は、透析ベッド52床、3交代と大学病院に付属する透析室としては、最大規模で、透析室の常勤医師は10~12人、看護師17人、臨床工学技士は30~32人と豊富なスタッフをそろえて、透析をはじめ体外循環（アフェレシス、腹膜透析を含む）全般の教育・研究施設です。診療実績では、新規の透析導入は100人超で、外来約400人、入院1200人の透析患者さんがおいでです。すべての腎関連疾患に対する集学的医療を合言葉に、腎臓病総合医療センターの一員として、保存期慢性腎臓病から、移植、医工学にもスペクトラムを広げています。どうぞ透析のご施設に関わらず、双方向の腎疾患の患者さんの診療体制、連携を作らせてください。



救命救急センター

矢口 有乃

このたび三月一日付で本学救急医学講座教授・講座主任を拝命いたしました。本学救急医学講座は、当院の三次救急である救命救急センターと一次、二次救急の救命・救急医療科（通称 EmD: Emergency Division）を診療科として担っております。当院では、専門各科の協力と支援体制の下、重症度の高い患者様や専門性を要する救急診療を地域の皆様にご提供させていただけるよう病院一丸となって取り組んでおります。救急車でご来院される患者様の受入れにつきましては、夜間、休日問わず当科が窓口としている体制でありますので、いつでもご相談いただけますようお願い申し上げます。



## 医療安全・危機管理部の報告

医療安全・危機管理部 部長  
加藤 多津子

東京女子医科大学には3つの病院と5つの無床医療施設があり、本院を中心に幅広い疾患の患者さんを拝診しておりますが、医療の高度化や複雑化に伴い、ますます医療の安全性も問われてきています。日々、それぞれの施設で医療安全に真摯に取り組んでおりますが、各医療施設の連携強化、情報共有、安全への取り組みの質向上のために、平成27年4

月に医療安全・危機管理部が発足しました。

当部は「『質の高いチーム医療の実践を通じて、日本で一番謙虚に医療安全に取り組む組織』を目指す」を合言葉に業務を推進しています。

具体的には、全国の医療安全に関する最新情報をいち早く取り入れて各医療施設に共有したり、各医療施設の良い取り組みを施設間で展開したり、医療安全に関する知識や考え方の標準化を目指して研修を行ったりしています。

今後も、出来るだけ具体的に医療安全に関する本学の取り組みを発信して参りますので、何かお気づきの点があれば、是非ともお気軽にご意見をいただきましたら幸いです。

前列左：理事長特別補佐 河野龍太郎  
前列右：部長 加藤多津子  
後列左：課長 武市尚子  
後列右：部長付 清水直樹

## 新たな診療科紹介

### 睡眠科

当科の前身は、附属青山病院睡眠総合診療センターで、2010年より睡眠時無呼吸症候群、むずむず脚症候群、レム睡眠行動障害、ナルコレプシーなどの過眠症、不眠症などの睡眠障害の検査、診断、治療を行ってまいりました。

睡眠障害は、事故やヒューマンエラーなど社会的問題、うつなどの気分障害、生活習慣病と密接に関係し、総合的に診断、治療していくことが重要です。当科では、睡眠医療、循環器内科、呼吸器内科、精



睡眠科  
鈴木 真由美

神科の専門医が診療にあたっています。病棟は新しい第1病棟で、終夜睡眠ポリグラフィー（PSG）検査、昼間の眠気を客観的に評価・検査するMSLTを施行いたします。

睡眠や昼間の眠気などに関する悩みがあればお気軽にご相談ください。



第 5 回  
東京女子医科大学病院  
医療連携講演会・懇親会

**Thema** 「消化器疾患の最新治療」

**Schedule** 平成 28 年 10 月 6 日 (木)  
19:00 ~ 21:00

**Place** 京王プラザホテル

**Other info** 講演会・懇親会のお問い合わせは、  
社会支援部 (☎ 03-5269-7067) で  
お受けしています。

**Program**

19:00 ~ 20:00

1. 新たな外来紹介 睡眠医療の現況と課題  
(睡眠科 鈴木 真由美)

【講演会】

1. C型肝炎の最新治療 (消化器内科教授 徳重 克年)  
2. 最新の食道がん外科治療 (消化器外科教授 大杉 治司)

20:00 ~ 21:00

【懇親会】

第 45 回  
東京女子医科大学  
在宅医療研究会

**Thema** 「女子医大が目指す在宅医療」  
—循環器疾患のある患者さんが  
安心して過ごして頂くための医療連携—

**Schedule** 平成 28 年 10 月 13 日 (木)  
19:00 ~ 21:00

**Place** 東京女子医大病院 臨床講堂 II

**Other info** 詳細は、当院ホームページに掲載さ  
せて頂きます。  
※事前申し込みは不要、軽食あります。

**Program**

入退院を繰り返しやすい心不全患者さんの医療連  
携について、急性期病院・回復期病院・在宅支  
援診療所の立場からの報告と意見交換となります。

## からだ情報館

総合外来センター 1 階の「からだ情報館」は病気やからだに  
ついてのさまざまな情報を調べ、学ぶことを目的とした場所  
で、患者さんやご家族、地域の方にご利用いただいております。  
医学・看護関係の図書や雑誌があり、インターネットを  
利用して医療の最新情報を探すこともできます。館内のがん  
サロンでは、がんに関する資料の他、看護師や薬剤師による  
ミニレクチャーも開催しております。また、他の医療機関や  
施設の情報もあり  
ますので、転  
院先を探す場合  
にもご利用いた  
だいております。



## 医療機関からのご予約

☎ 03-5269-7160

📠 03-5269-7387

受付時間：平日 午前 9 時～午後 5 時

休診日：第 3 土曜・日曜・祝日、  
創立記念日 (12/5)、  
年末年始 (12/30～1/4)

※ 当院ホームページ「医療関係者の方へ」  
の FAX 申込書をご活用ください。